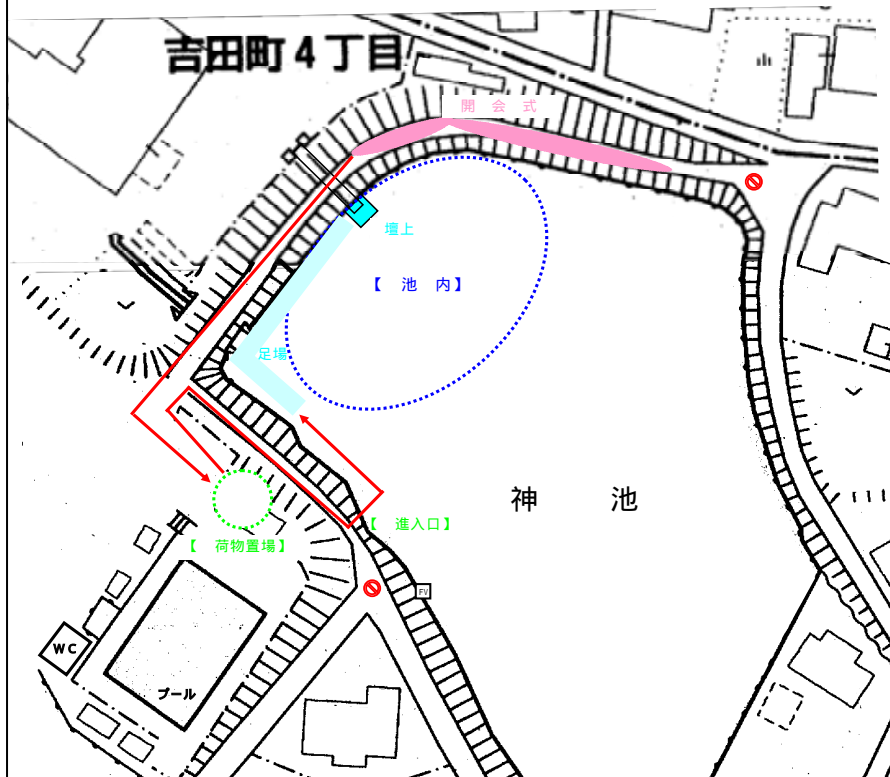


神池 実施計画

10:00 ~ 10:20
 <開会式 ~ 参加者移動>

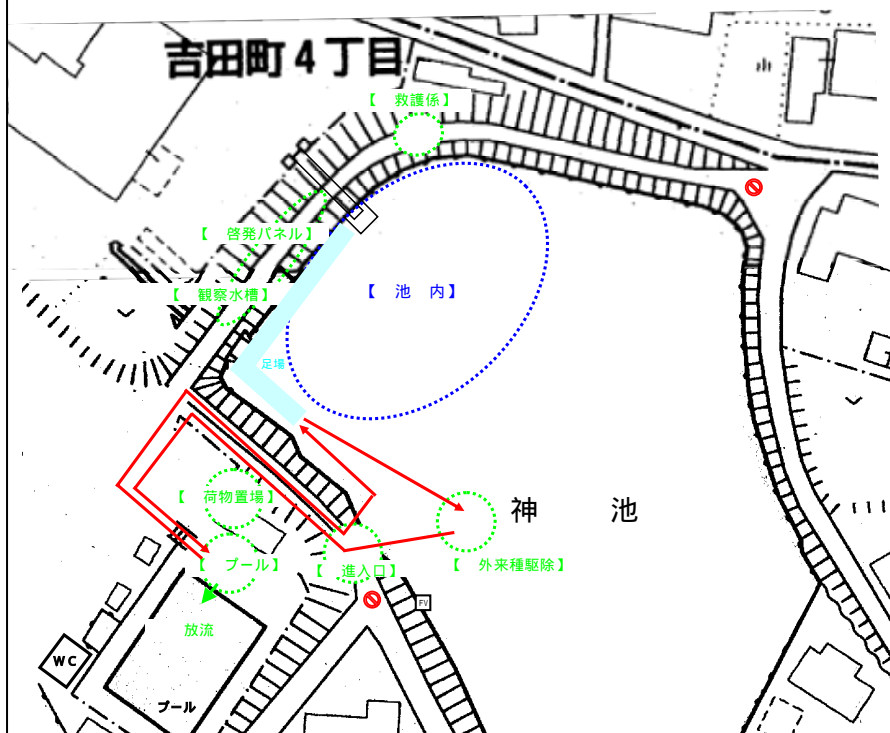
凡 例	
	市道通行止めカ所
	参加者誘導
	参加者
	壇上(司会、あいさつなど)



神池 実施計画

10:20 ~ 11:10
 <魚掴み ~ 外来種駆除 ~ プールへ放流>

凡 例	
	市道通行止めカ所
	児童の動線
	【各スタッフの持ち場】



日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
11:10 12:00	参加者移動 参加者を、【 観察水槽】【 啓発パネル】コーナーへ誘導する	誘導：農総試【1】 知多農林【1】	
	観察水槽・啓発パネルの展示 観察水槽・啓発パネルを説明する 資料・下敷き・アンケートを配付する	説明：農総試【1】 配布：農総試【2】 知多農林【2】	啓発パネル 配布資料 下敷き アンケート
	閉会式 参加者は堤体上に誘導し、取水塔を壇上として、閉会式を行う (1)成果報告 「外来種の駆除量」(ポリバケツ 杯 匹など) 「一番の大物」(外来種 cm)「プールへの放流量」 (匹)「池の主」(cm)を報告する (2)地元役員代表あいさつ (3)小学校教諭あいさつ (4) 知多農林あいさつ	司会進行： 農地計画課【1】 成果報告： 農地計画課【1】	拡声器 マイク スピーカー



イベントの様子



魚掴みの様子

はじめは足場の上を恐る恐る…



魚掴みの様子

やがて服が汚れるのも気にせず夢中で作業



外来種の仕分け駆除

外来種を選り分けて処分します



駆除した外来種

ブラックバス



バットで長靴を洗ってから池外へ

道路の汚れはほとんどありませんでした



放流作業

小学校プールにフナを放流

(3) 長田池実施計画

開催日時：11月8日(土)午前10:00~12:00 雨天

会場：長田池

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
事前準備	(1)三好町広報に開催告知記事を掲載(H20.10.15号)		
	(2)参加者募集チラシの配布(10/16) 三好町経由で池近隣の小学校に配布 地元役員経由で町内回覧	三好町 地元役員 農地計画課	チラシ 小学校 750 部 町内会 123 部
	(3)関係者最終打合せ(10/16) 老朽ため池等整備事業工事説明会に併せて、イベント実施概要を説明、当日のスケジュールなどを最終確認する	農地計画課 農総試 豊田加茂農林 三好町 三好町(土) 地元役員 請負業者	
	(4)インターネット、往復ハガキによる募集受付を開始(10/18~26)	農地計画課	
	(5)参加者名簿を作成、参加者の傷害保険加入手続(11/7までに手続き完了)	農地計画課	
	(6)参加者駐車場の準備 池に隣接する県企業庁造成地を駐車場として利用するための借地手続き 駐車場用地の不陸均し、草刈り	農地計画課 請負業者	
	(7)当日の救急指定病院などの確認する	三好町	
準備作業 11月7日 13:00 17:00	(1)落水作業 斜樋、水替えポンプにより、池内準備作業が可能な水位まで落水(翌日までに魚類が死なない程度まで)	豊田加茂農林【1】 請負業者	水替ポンプ
	(2)資材積込・搬入(9:30~) 必要資材を積込み、現地へ搬入する	農総試【4】 農地計画課【3】	
	(3)池内足場の設置など 必要に応じて、PPシート・木板で池内足場を設置する 池上流側に濁筋を渡るための仮設橋を設置する 池内の危険箇所をピンポールで表示する クイズラリーのルート踏査、「問題」を掲示する	農総試【4】 農地計画課【5】	PPシート 木板 塩ビパイプ ピンポール
	(4)魚類の捕獲 本番当日に観察会で使用する魚類をあらかじめ捕獲し、仮設プールに放流する 捕獲した魚類の一部をタライに入れて、請負業者現場事務所まで養生する(展示・スケッチ用)		胴長・タライ・ エアポンプ・ポリタンク・たも アミ・コドラードネット
その他	イベント実施状況の記録	農地計画課【1】	カメラ
	新聞・テレビなどマスコミ対応	農地計画課【1】	

イベントの準備

ため池の底力 みんなで再発見

愛知県農地計画課から ☎052(954)6432
<http://www.pref.aichi.jp/nochi-keikaku/>

長田池の池干し作業にあわせ、地域の皆さんや子どもたちと、ため池にすむ生き物の観察会を行います。見学は自由にできますので、ぜひお越しください。

▶とき=11月8日(土)午前10時から正午まで(予備日9日(日)午前10時から正午まで)

▶ところ=長田池(三好町大字黒笹字子持松地内)



▶内容=小学生児童を対象とした生物の観察会、地元農家と住民の参加による池干し作業、ため池保全に関するパネル展示など

※駐車場はありませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

「広報みよし」に開催告知記事を掲載



魚類の捕獲作業

ヘドロが深いため、苦戦しています



仮設プール

深さ50cm程度で安全に作業できます



水槽展示

捕獲した魚類を展示



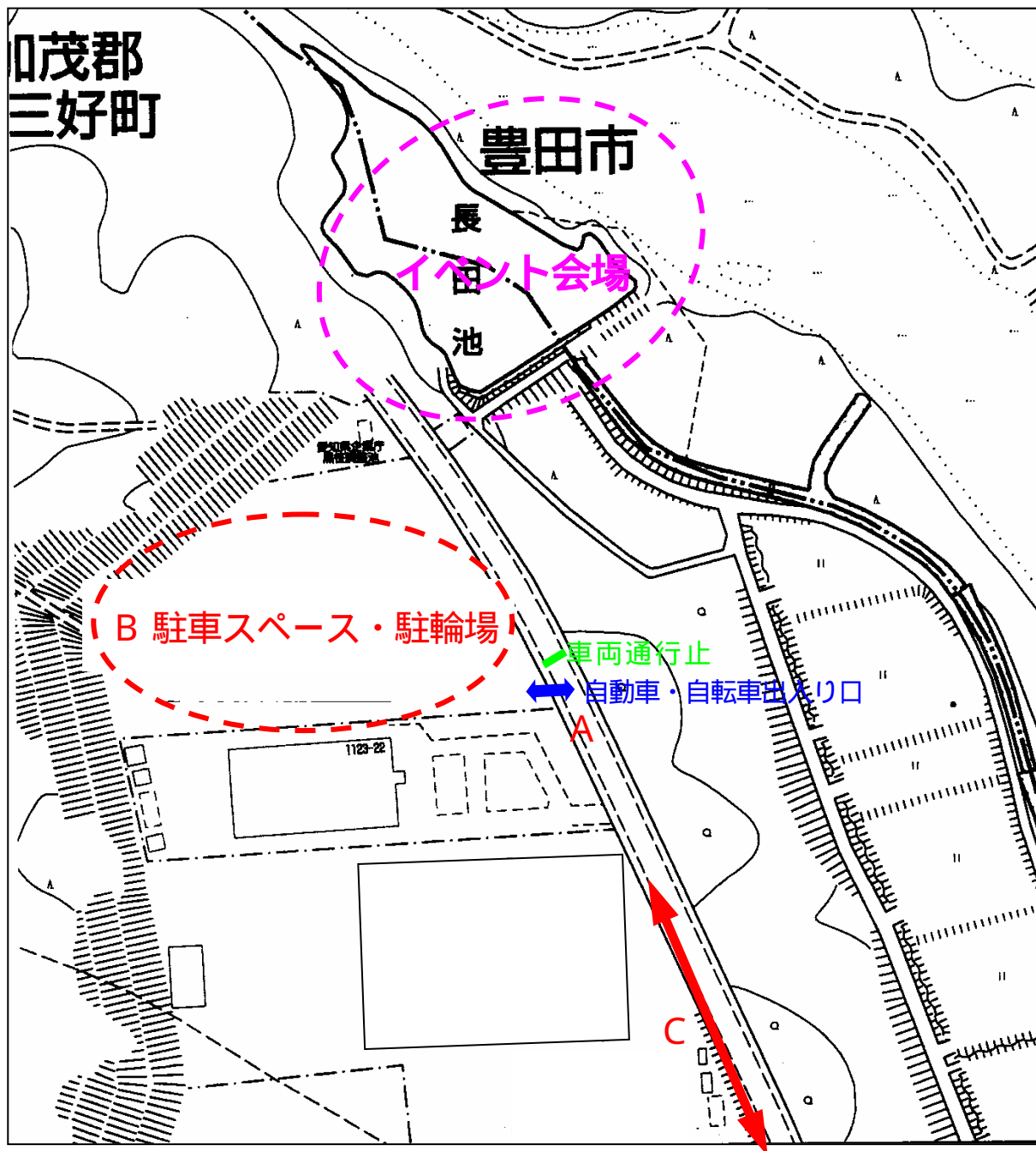
啓発パネルの展示

近隣施設のフェンスを借用

長田池は長い間、池干しをしていなかったため、池底に大量のヘドロが堆積していたので、参加者200人規模のイベントを成功させるため、池外でのイベントメニューを充実させる必要がありました。

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
準備作業 11月8日 8:00 10:00	(1)雨天問い合わせ窓口の設置 農地計画課に問い合わせ窓口を設置し、電話にて対応する	農地計画課【1】	
	(2)落水準備 水替ポンプにより、魚つかみが実施可能な水位に調整する	豊田加茂農林【1】 請負業者	水替ポンプ
	(3)水の確保 捕獲した魚類を洗浄・養生するための水(自然水) 参加者が体を洗うための水を準備する	豊田加茂農林【1】 請負業者	散水車・水
	(4)外来種駆除の準備(2か所) ザル、はかり、ビニル袋などを準備する 駆除量(kg)を測定、記録するための記録用紙(耐水紙)・筆記用具を準備	農総試【2】 農地計画課【1】	ザル・ポリバケツ・記録用紙・筆記用具・電卓 ビニル袋
	(5)魚類移動の準備 魚洗い用タライ・コンベックスなどを設置する 移動量(トラック 台)を記録するための記録用紙(耐水紙)・筆記用具を準備する 移動する魚類を運搬する車両を準備、配置する	農総試【2】 農地計画課【1】 豊田加茂農林【1】 請負業者	タライ・ポリタンク・記録用紙・筆記用具・電卓 運搬車両
	(6)スケッチ大会等の準備 前日に捕獲した魚類をタライ・水槽に入れて会場に配置する 観察水槽を長机3脚の上に配置する	農総試【2】 豊田加茂農林【2】	タライ・水槽・エアポンプ・すくいアミ 長机3脚
	(7)クイズラリーの準備 解答用紙、ボールペンをスタート位置に配置する	農地計画課【2】	解答用紙 ボールペン
	(8)啓発パネルの準備 啓発パネル6枚を企業庁水道施設のネットフェンスに番線等で固定する		啓発パネル 番線
	(9)開会式会場の準備 参加者が班毎に並べるようプラカードを設置する		プラカード
9:00 10:30	参加者の案内・駐車・駐輪場内の整理 参加者を駐車・駐輪場に案内 場内外の交通整理・監視	農地計画課【5】 豊田加茂農林【2】	右図参照
	整理券(引替券)の配布 開会式～魚掴みへの誘導のため、参加者に整理券を配布する A B班は低学年(小3以下) C D班は高学年以上の子供がいる参加者に配布する 開会式(堤体上)に集合するように案内する	農地計画課【1】 農総試【2】 豊田加茂農林【2】	整理券

参加者の案内・駐車・駐輪場内の整理



位置	人員	業務内容	注意事項
A	1名	車両出入口での交通整理	・ 出入口は車両1台分程度
B	4名	駐車場・駐輪場内の交通整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥から整然と効率よく駐車できるよう案内する ・ 途中で帰る参加者もいるので、出入口も注意する ・ 満車になったら、C班に連絡する
C	2名	会場(駐車場)への案内 路駐禁止のお願い	・ 路上駐車のを呼びかける

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
11月8日 10:00 10:10	開会式 参加者は堤体上に班毎に集合、底樋を壇上として、開会のセレモニーを行う (1)農地計画課あいさつ (2)作業要領ガイダンス	司会進行： 農地計画課【1】	拡声器 マイク スピーカー

池内イベント

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
10:10 10:20	参加者移動 参加者を堤体上から、班単位で池内に誘導する	農地計画課【2】 農総試【2】	
10:20	魚掴み(仮設プール)参加者：主にAB班 参加者は仮設プール内の魚を捕獲し、外来種駆除コーナーに運ぶ。 外来種を選び分けた後、在来種積込コーナーに運ぶ 笛の合図で作業を終了する	農総試【2】 農地計画課【1】 地元役員 請負業者	胴長・バケツ・ たもアミ・コドラードネット など 笛
11:10	外来種駆除 参加者が運んできた魚類を選び分ける 駆除量(kg)を測定、記録する 駆除する外来種は袋詰める	農総試【1】 豊田加茂農林【2】 農総試【1】 豊田加茂農林【2】	はかり・記録用紙・筆記用具
	在来種積込 参加者はトラック(2t)に魚類を積み込む 積込量(トラック台)を測定、記録する	豊田加茂農林【2】 請負業者	記録用紙・筆記用具 トラック(2t)
11:10 11:50	参加者誘導 参加者を池外に誘導する 閉会式終了後、引換券と交換で、プラ水槽・スケッチブック・配布資料・下敷きなどを配付することを告知する	誘導： 農地計画課【1】 農総試【2】	散水車 配付資料

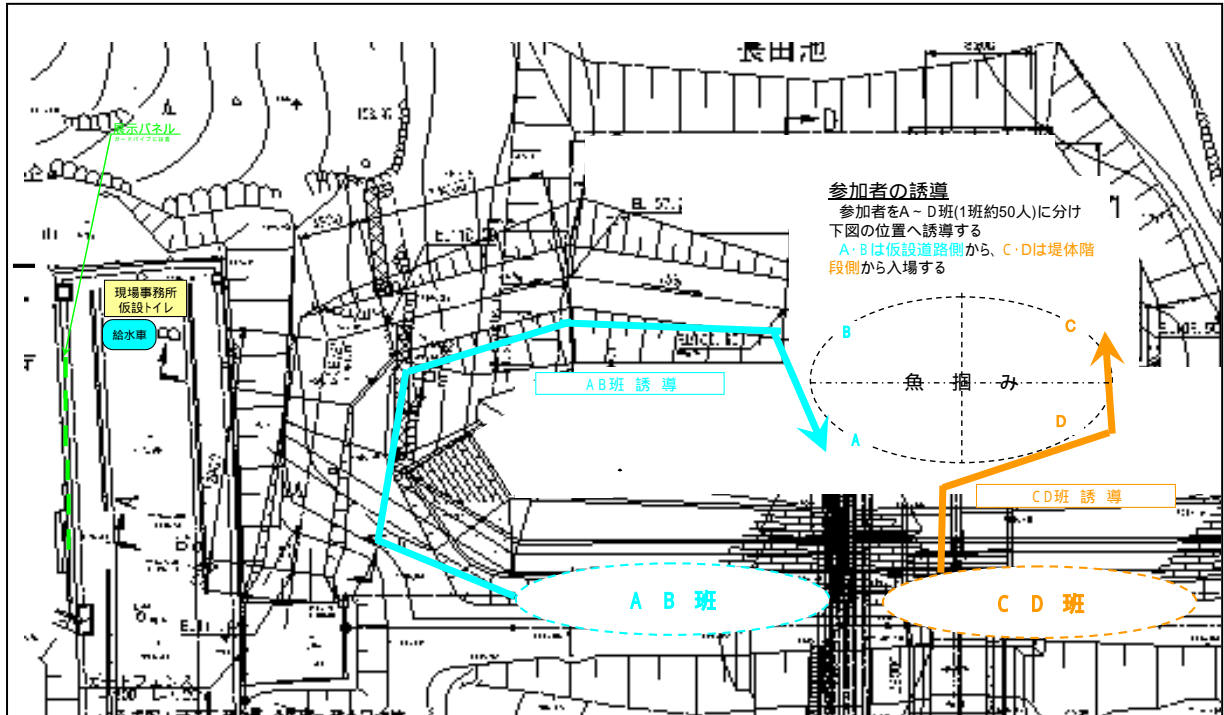
池外イベント

笛の合図により開始を知らせる

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
10:40 11:50	スケッチ大会 参加者にプラ水槽・スケッチブックを配布する 参加者は水槽の魚類をスケッチする 葉っぱや小枝を使い、スケッチブックに貼り付けて絵を作る 作品ができれば、随時写真撮影する	農総試【2】 農地計画課【1】	プラ水槽・スケッチブック 作者記入用紙 木工ボンド・はさみ・カッター ナイフ・サインペン・色鉛筆
	クイズラリー 参加者に解答用紙を配布する ため池の周回歩道を使ってクイズラリーをする ラリーを終わった参加者に下敷きを配布	農地計画課【2】	解答用紙 ボールペン 下敷き

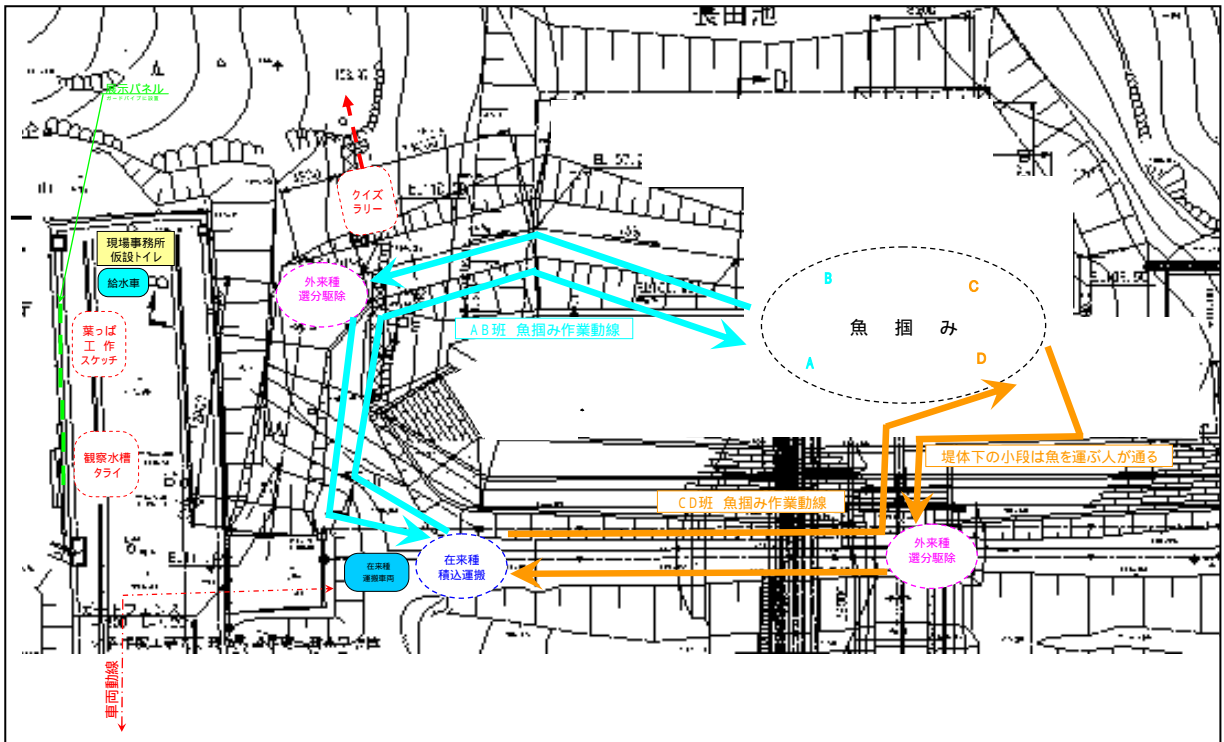
長田池 実施計画 開会式(10:00 ~ 10:10)

閉会式(11:50 ~ 12:00)



長田池 実施計画 池内イベント(10:10 ~ 10:50)

池外イベント(10:40 ~ 11:50)



日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
11:50	閉会あいさつ	司会進行：	拡声器
	(1)成果報告 移動量・駆除量を報告	農地計画課【1】	マイク
12:00	(2)地元役員代表あいさつ	成果報告：	スピーカー
	(3)豊田加茂農林あいさつ	農地計画課【1】	

イベントの様子（池外）



魚類の観察

職員の説明を熱心に聞いています



スケッチ大会

色鉛筆を使ってフナの絵を描いています



資料の配付

即席のテントを造りました

イベントの様子（池外）



開 会 式



魚 搦 み



魚 搦 み

ヘッドロが深いため、池の中のスタッフが捕獲した魚を渡します



仮設プールでの魚搦み

小さな子供たちでも安全です



移動する魚類の洗浄

移動先の池を汚さないよう泥を落としてからトラックへ



魚類の移動用車両

2 tトラックの荷台をブルーシートで覆って水を張ります

ため池に関する住民意識調査・研究

1 背景・ねらい

ため池に関する地域住民の知識、イメージ、維持管理方法、池干しイベントに対する感想等を把握しました。

2 方法

(1) 調査場所

大府市吉田町神池

(2) 調査日

平成20年10月5日(日)

(3) 調査対象

池干しイベント参加者45人(大人)

(4) 調査方法

作業終了時に調査用紙を配布し、各家庭で記入の上、郵送により回収しました。

(5) 調査内容

回答者の属性による、ため池に関する知識、ため池のイメージ、ため池の維持管理方法、池干し作業参加の感想等をアンケート(記入式)により調査しました。

ア 回答者の属性

a 回答者の家(居住地)から神池までの距離

距離遠区 遠い(徒歩15分以上) 回答者数=5人

距離近区 近い(徒歩10分以内) 回答者数=10人 無効回答=1人

b 回答者の現在の家(居住地)の居住期間

期間長区 長い(居住期間30年以上) 回答者数=6人

期間短区 短い(居住期間30年以下) 回答者数=9人 無効回答=1人

c 回答者の性別

男性区 男性 回答者数=7人

女性区 女性 回答者数=8人 無効回答=1人

イ 設問内容

a 神池の役割に関する知識

「かつて農業利用されていた」「現在農業利用されている」「生物の棲みかである」「防災に役立っている」「歴史的文化的遺産である」という5つの神池の役割に対して、「よく知っている」「知っている」「あまり知らない」「知らない」の4段階で回答してもらいました。「よく知っている=4点」「知っている=3点」「あまり知らない=2点」「知らない=0点」として、役割ごとの平均得点(総得点を回答者数で除した得点)で回答者属性ごとの知識の有無を判断しました。

b 神池のイメージ

「汚い・臭い」「近寄ると危ない・落ちると危険」「楽しい」「心安らぐ・癒し」「あまり考えたことがない」という5つの神池のイメージに対して、「とてもそう思う」「そう思う」「あまり思わない」「思わない」の4つから選択してもらいました。「とてもそう思う=4点」「そう思う=3点」「あまり思わない=2点」「思わない=1点」として、イメージごとの平均得点(総得点を回答者数で除した得点)で回答者属性ごとのイメージの相違を判断しました。

c 神池の将来の利用方法・維持管理方法

将来の利用方法について、「学習(社会)の場」「学習(理科)の場」「生物保全の場」「遊びの場」「憩いの場」「特に希望がない」「その他」の7つの選択肢から、「地域資源として地元住民が管理する」「公共物として『行政』が『公金』により維持管理する」「利用者である『農業者』が中心となって行う」